9*\$*7*\$*27*%*7:19

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和5年6月10日 **3** 第

トレーニングセール 売却率が過去最高を記録

5月23日(火、JRA札幌競馬場でトレーニングセールが開催された。本年は116頭が上場、91頭が取引となり売却総額は6億6,704万円(以下、すべて税込)、平均価格733万円、中間価格660万円、売却率78.4%となり、中間価格と売却率は過去最高を記録した。(比較については次頁参照)最高取引価格馬は上場番号49番ピサノプリヴェ2021(門別・(旬下河辺牧場)の2,420万円だった。

活況が続く1歳市場の影響もあり、本年の名簿 掲載頭数は131頭と、昨年比減の頭数となったが、 ユニコーンステークスを勝ったスマッシャーの半 弟スマッシュ2021 (父キズナ) や、キーンラン ドカップを勝ったエイティーンガールの半弟セン ターグランタス2021 (父デクラレーションオブ ウォー) など、重賞ウイナーのきょうだいが名を 連ねたほか、初年度産駒から重賞ウイナーを輩出 したリアルスティール産駒や、1歳市場で人気を 博したモーニン産駒、初年度産駒がデビューを控 え活躍の期待が高まるシュヴァルグラン産駒やカ リフォルニアクローム産駒など、バラエティに富 んだラインナップとなった。

セール前日、5クルーに分けておこなわれた2 F計測の公開調教ではホームストレートが強い向かい風が吹き、馬にとって逆風となるなか、先陣を切った上場番号116番オデッタ2021とケンジントン2021(ともに門別・(㈱門別牧場)の組が11秒5~10秒9、合計22秒4の好パフォーマンスを披露した。続く、上場番号44番センターグランタス2021(浦河・99.9)の単走の追い切りでは11秒2~10秒8、合計22秒0のタイムを軽く気合を付けただけで直線では鞍上がほとんど追うことなく記録する圧巻の走りで駆け抜け、結果的にこれが2下合計の最速タイムとなった。このほか、上場番号8番シンセツ2021(浦河・99.9)ラス

ト1Fで10秒9を記録し、上場番号53番パラダイスコーブ2021 (門別・(株セイクリットファーム) がラスト1Fでは最速の10秒6で走り抜け、仕上がりの高さをアピールした。

当日は、せりが始まる10時前から会場は沢山の購買関係者で溢れ、せりの途中には鑑定人より空席場所を知らせるアナウンスもあった。せりも中盤に差し掛かろうとする頃、上述の上場番号44番センターグランタス2021が800万円のファーストビッドから活発な競り上げが続き、1,500万円でハンマーが落ち、1,650万円で落ち、1,650万円で落ち、1,650万円で落ち、1,650万円でが続き、1,650万円でが高時上が続き、1,650万円でが高時上が続き、1,650万円でが続き、1,650万円でが続き、1,650万円でが続き、1,650万円である。11)を勝利するなど活躍中のよった本の人では、11)を勝利するなど活躍中。また、2021年トレーニングセールで取引となったトップスティール(静内・(制千代田牧場)が3勝クラスまで出世しており、本馬の活躍も期待される。

その直後、上場番号49番ピサノプリヴェ2021 が上場されると、これもまた800万円のファース トビッドから激しい応札が続き、2,420万円で本



最高落札価格馬:ピサノプリヴェ2021 (門別・侑下河辺牧場)

年のトレーニングセール最高落札価格馬となった。公開調教では終始楽な手応えのままでありながら11秒9~11秒3のタイムを軽々と記録し、軽快な走りを披露していた。一杯に追うことなく余力を残した状態でのパフォーマンスが多くの購買関係者の目を惹いていたが、本馬を落札したのは安原浩司氏。安原氏の北海道市場取引馬では、2021年サマーセールで取引となったトップナイフが今年の日本ダービーに駒を進めるなど好相性であり、トップナイフに続く活躍が期待される。

その後も、1F最速を記録した上場番号53番パラダイスコーブ2021が2,145万円で取引となったほか、高水準での取引が続いた。平均価格こそ昨年比減となったが、中間価格は測年比増となっており、突出した高価格取引馬が全体の指標を引

き上げた訳ではなく中価格層の大きな需要が指標を引き上げた格好となった。売却率は過去最高を 記録したことからも、2歳市場の需要を示すかた ちとなった。

古川組合長は「欠場が多く上場頭数は少なくなり心配もあったが、売却率は過去最高を記録し、予想以上だった。売却総額も上場頭数を考えれば十分な金額だと思う。公開調教においても伸び代を見るように、購買者の見方も変わってきたように思う。今後は頭数確保が課題で、一定の成績を残していればある程度の頭数確保は可能だと思うが、上場していただけるようなコマーシャルをしながら、トレーニングセールを維持・開催できるように来年に向けて考えていきたい。」と、トレーニングセールを振り返った。

【トレーニングセール 5年間の比較】

| | | | | 2023年 | | 2022年 | | 2021年 | | 2020年 | | 2019年 | |
|---|--------|----|---|--------------|-------------|-------|-------------|----------|-------------|-------|----|--------------|---------------|
| 平 | 均 | 価 | 格 | \downarrow | 7,330,109 | 1 | 8,013,958 | 1 | 7,847,108 | | - | \downarrow | 7,092,000 |
| 中 | 間 | 価 | 格 | 1 | 6,600,000 | 1 | 6,490,000 | 1 | 6,380,000 | | | \downarrow | 5,400,000 |
| 出 | 場 | 頭 | 数 | \downarrow | 116 | 1 | 134 | 1 | 124 | | | 1 | 234 |
| 売 | 却 | 頭 | 数 | \downarrow | 91 | 1 | 96 | ↓ | 83 | | | 1 | 162 |
| 売 | 去 | [] | 率 | 1 | 78.45% | 1 | 71.64% | ↓ | 66.94% | | 中止 | 1 | 69.23% |
| 売 | 上 | 総 | 額 | \downarrow | 667,040,000 | 1 | 769,340,000 | 1 | 651,310,000 | | | \downarrow | 1,148,904,000 |
| 購 | 購買登録者数 | | 数 | \downarrow | 578 | 1 | 597 | \ | 560 | | _ | | 612 |
| 購 | 購買実績数 | | 数 | \downarrow | 70 | 1 | 79 | ↓ | 62 | | | | 128 |

※ 単位(円、頭、名)、価格は税込、矢印は前年対比(2021年は2019年との比較)

理事会の内容について

【第5回理事会】

◇令和5年5月2日 13時30分 静内支所

〈報告事項〉

- 1. (一社) 北海道軽種馬振興公社第2回業務運営委員会の内容について
- 2. 第3回市場委員会の内容について
- 3. 第1回業務・配合委員会の内容について
- 4. 第5回総務・診療委員会の内容について
- 5. 人事異動の内容について

〈議 案〉

- 1. セレクションセールの上場馬の決定について
- 2. 組合員の加入について
- 3. 役員定数問題審議会規程の一部変更について
- 4. 理事報酬審議会規程の一部変更について
- 5. 協賛金の支出について

ミックファイア 鮮やかに2冠達成

6月7日(水)、大井競馬場で第69回東京ダービーがおこなわれミックファイア (静内・高橋ファーム生産) が前走の羽田盃に続き勝利し、南関東クラシック2冠達成となった。無敗での2冠達成は2001年のトーシンブリザード以来22年ぶり、史上2頭目の快挙となった。

ミックファイアは、父にシニスターミニスター、JRAで4勝を挙げたマリアージュを母にもち、2021年のサマーセールでオーナーの星加浩一氏によって550万円で落札された。その後は大井競馬・渡邉和雄厩舎所属となり、昨年9月の2歳新馬戦(大井ダ1600m)でデビューし、スピードの違いを見せつけるかのように逃げて5馬身差の圧勝で初陣を飾った。続く2戦目(大井ダ1600m)でも同じく逃げの手を打ち、またしても5馬身差で連勝を継続、さらに3戦目のひばり特別(大井ダ1800m)では、後に京浜盃を勝利することになるサベージなど相手の出揃う一戦だったが、ここも逃げて後続を完封した。ここまで2歳時につけた合計着差は13馬身差となり確かな素質を見せたが、ミックファイアはここから長い休養に入ることになる。5か月ぶりのレースとなったのは南関東クラシック第一戦目の羽田盃(大井ダ1800m)。ここでは昨年の全日本2歳優駿(Jpn I)で地方所属馬再先着を果たすなどNAR2歳最優秀牡馬に輝き、2月の雲取賞ではアメリカ・サンタアニアダービー(G I)で2着となるマンダリンヒーローに勝利するなど、勢いの止まらないヒーローコールと対峙し、無敗のミックファイアといえどもチャレンジャーの立場での出走となった。ミックファイアは休み明けや、2桁の大幅な馬体重減が嫌われてか4番人気に甘んじるが、ここでも圧巻のレースを見せつけた。これまでの逃げの手ではなく2番手で折り合いをつけると、直線入り口で先頭を奪うと追いすがるヒーローコールらを突き放し6馬身差でゴールを駆け抜け、南関東クラシック路線の勢力図を塗り替えるかたちとなった。

そこから中3週空けての一戦となった東京ダービーで、単勝オッズ1.5倍が示す通りファンはミックファイアの強さを支持した。そのあとは、羽田盃の雪辱に燃えるヒーローコール、末脚堅実なサベージが人気で続き、ここまでが単勝オッズで10倍を切った。羽田盃組の上位がそのまま人気上位を構成したなかでレースが始まった。

ゲートが開き紅一点ボヌールバローズがハナを奪うと、その外をミックファイアが取り、ヒーローコールも先団へ取りつきミックファイアを見る形に。サベージは後方からレースを進めた。向正面に入り、ミックファイアが折り合いをつける後ろでヒーローコールは外へ出しいつでも動ける態勢を整え、レースは流れていく。3コーナーに差し掛かるところで早くもヒーローコールがミックファイアへ並びかける勢いで進出し、先団はペースアップ。サベージなどの後方に構えていた有力各馬も追い上げを開始していたが、羽田盃を再現するかのようなレース振りでミックファイアが先頭で直線の力比べに持ち込む。コーナーワークで僅かに後れを取ったヒーローコールが挽回を期して懸命に前を追うが、ミックファイアの脚色は全く衰えなかった。後続を突き放し、羽田盃に続き6馬身差でゴールを駆け抜け、ダービー制覇となった。2着にはヒーローコールが入り、3着には兄に東京ダービー馬アランバローズがいるナンセイホワイトが入線となった。

南関東所属馬のみでおこなわれる東京ダービーも今年で最後を迎える。来年からは3歳ダート3冠競走としてJpn I に格上げ(詳細については次頁参照)され、地方所属馬は中央所属馬を迎え撃つこととなり、更なる激戦が展開されるだろう。ミックファイアがこの後、無敗の南関東3冠をかけてジャパンダートダービー(Jpn I)に挑むことになれば、ミトノオーをはじめとした強豪馬との対戦となる。圧倒的な快進撃を続けるミックファイアの今後に期待したい。今年のジャパンダートダービーは7月12日(水)におこなわれる。

イグナイターが中央所属馬を一蹴

5月31日(水)、浦和競馬場でおこなわれた第27回さきたま杯(Jpn III)で園田競馬所属のイグナイター(父:エスポワールシチー、門別・春木ファーム生産)が昨年のかきつばた記念(Jpn III)以来の交流重賞競走3勝目を手にした。

2024年よりJpn I へ格上げされることが決定し、Jpn II の格付けでは最後の開催となったさきたま杯だが、今年も豪華なメンバーが顔を揃えた。1番人気に支持されたのはシャマル。昨年の同レースではタイム差なしの3着と惜敗したが、交流重賞競走を4勝しているその実力はメンバー最上位の評価だった。2番人気に支持されたのはコンシリエーレ。重賞こそ未勝利だが、東京ダート1600mで抜群の成績を誇り、好メンバーの揃った前走オアシスS(L)を勝利してここへ臨んでいた。3番人気に支持されたのはバスラットレオン。軽快な先行力を武器に芝ダート問わない活躍を見せており、昨秋にレモンポップと接戦を演じた実力を高く評価されていた。イグナイターは、確かな実力がありながらも7番人気に甘んじていた。

強力な先行馬が多数揃ったレースとなり、どのようなポジション争いになるか注目が集まったスタート直後、枠の利を活かし2番枠のギシギシが主張してハナへ。すぐ外のスマイルウィが楽に2番手を取り、外枠から先行争いに参加したバスラットレオンは外を回る3番手という展開のなか、その直後のインコースにイグナイター、外にコンシリエーレという隊列で1~2コーナーを通過した。向正面に入りややペースが落ちたところでスマイルウィがハナを奪いハイラップを刻み3~4コーナーを回り脱落していく馬が出てくるなか、スマイルウィ、バスラットレオン、イグナイターの3頭が抜け出す形で最後の直線へ。スマイルウィが後続を突き放しにかかり、外を回り続けたバスラットレオンがジリジリと離されていく。インコースで脚を溜めていたイグナイターが前を2頭の間に割って入ると一完歩ごとにスマイルウィとの差を詰めクビ差抜け出したところがゴールだった。2着にはスマイルウィが入り地方所属馬のワンツー決着となり、3着にはバスラットレオンとなったが、4着にはイグナイターと同じ春木ファーム生産のアポロビビが入り、9番人気の低評価を覆す大健闘を見せた。

イグナイターは2019年サマーセールの取引馬。今回の勝利で、ダート短距離路線の主役を担う存在になったと言っても過言ではないだろう。これから更にタイトルを積み上げることを期待したい。

地方競馬のグレード格付けや、開催時期など主な変更点(新開催時期順)

| レース名 | 格付け | 開催場 | 距離 | 性齢 | 実施時期 |
|--------------------------------|---------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------|
| ブルーバードカップ | <u>JpnⅢ</u> | 船橋 | 1800m | 3歳 | 1月中旬 |
| クイーン賞 | JpnⅢ | 船橋 | 1800m | 3歳以上牝 → 4歳以上牝 | 1 2月上旬 → 2月上旬 |
| 雲取賞 | <u>Jpn</u> Ⅲ | 大井 | 1800m | 3歳 | 2月中旬 |
| かきつばた記念 | JpnⅢ | 名古屋 | 1500m | 4歳以上 | 5月上旬 →<u>3月上旬</u> |
| 京浜盃 | <u>Jpn II</u> | 大井 | 1700m | 3歳 | 3月中旬 |
| TCK女王盃 →<u>兵庫女王盃</u> | JpnⅢ | 大井 → <u>園田</u> | 1800m → <u>1870m</u> | 4歳以上牝 | 1月中旬 → <u>4月上旬</u> |
| 川崎記念 | Jpn I | 川崎 | 2100m | 4歳以上 | 1月下旬 → 4月上旬 |
| 羽田盃 | Jpn I | 大井 | 1800m | 3歳 | 4月下旬 |
| 名古屋グランプリ | Jpn II | 名古屋 | 2100m | 3歳以上 → 4歳以上 | 1 2月上旬 → 5月上旬 |
| エンプレス杯 | Jpn II | 川崎 | 2100m | 4歳以上牝 | 3月上旬 →<u>5月上旬</u> |

ケイアイドリーが重賞初制覇

6月1日休)、門別競馬場で第27回北海道スプリントカップ(JpnⅢ)がおこなわれケイアイドリー(父:エスポワールシチー、新冠・隆栄牧場生産)が重賞初制覇を達成した。

ホッカイドウ競馬ではシーズン最初のダートグレード競走としてお馴染みの本競走だが、中央競馬所属の歴戦の古馬と、地元の快速馬の鎬を削る争いが見ものとなっている。2020年には地元のメイショウアイアン(現在はひだか・ホース・フレンズにて繋養)が20年ぶりに地元勢として勝利し、ファンを沸かせた。そんな本競走も2024年からは3歳限定競走となり、新たな歴史がスタートする。

そういった意味で一つの締めくくりとなる今年の本競走には好メンバーが参戦した。昨年のJBCスプリント(Jpn I)を制し、現役屈指のスピードを誇るダンシングプリンス。前走の栗東ステークス(L)を7馬身差の快勝でここへ挑んできたアイオライト。東京スプリント(Jpn III)ではリュウノユキナと接戦を演じ、昇り調子のケイアイドリー。そのほか、重賞競走3勝の実績をもつジャスティンや、前哨戦のエトワール賞を楽勝してきた地元の総大将スティールペガサスなど、混戦が予想されるメンバー構成となった。

レースが始まると、好スタートを切ったダンシングプリンスがハナを奪うと思われたところを、内からジャスティンと軽斤量を活かしたスペシャルエックスが押してハナ争いに加わった。3頭が後ろを引き離し雁行状態のまま3コーナーへ突入するハイペースでの展開となった。離れた4番手集団にはケイアイドリー、スティールペガサス、アイオライトが並んだ状態でレースは流れるが、ケイアイドリーがインコース追走から楽な手応えで先団との差を徐々に詰め、前を行く三頭の外へ持ち出したところで最後の直線へ向かう。粘り込みをはかるダンシングプリンスらを抜き去り早々と先頭へ躍り出たケイアイドリーを巡って、アイオライトとスティールペガサスが後ろから懸命に詰め寄ろうと試みるがその差はなかなか縮まらない。早めに動いたケイアイドリーの脚は鈍ることなく最後はアイオライトに1馬身半差を付けての勝利となった。

ケイアイドリーは一つ上の兄に佐賀記念(JpnⅢ)などを勝利しているケイアイパープルがおり、晴れて兄弟での重賞制覇となった。また、父エスポワールシチーにとっても5月31日のさきたま杯(JpnⅡ)を勝利したイグナイターに続き2日連続での重賞勝利となった。

| レース名 | 格付け | 開催場 | 距離 | 性齢 | 実施時期 |
|-------------------------------------|--------------------------|-----|-------------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 兵庫チャンピオンシップ | Jpn II | 園田 | 1870m → <u>1400m</u> | 3歳 | 5月上旬 |
| 東京ダービー | Jpn I | 大井 | 2000m | 3歳 | 6月上旬 |
| さきたま杯 | Jpn II → <u>Jpn I</u> | 浦和 | 1400m | 4歳以上 → 3歳以上 | 5月下旬 →<u>6月中旬</u> |
| 北海道スプリントカップ | JpnⅢ | 門別 | 1200m | 3歳以上 → <u>3歳</u> | 6月上旬 → 8月中旬 |
| ブリーダーズゴールドカップ | JpnⅢ | 門別 | 2000m | 3歳以上牝 | 8月中旬 → 9月上旬 |
| 不来方賞 | <u>Jpn II</u> | 盛岡 | 2000m | 3歳 | 9月上旬 |
| マリーンカップ | JpnⅢ | 船橋 | 1600m → <u>1800m</u> | 3歳以上 →3歳牝 | 4月上旬 →<u>9月下旬</u> |
| ジャパンダートダービー →ジャパンダートクラシック | Jpn I | 大井 | 2000m | 3歳 | 7月中旬 → 10月上旬 |
| エーデルワイス賞 | JpnⅢ | 門別 | 1200m | 2歳牝 | 1 ○月中旬 → <u>1 1月上旬</u> |
| 名古屋大賞典 | JpnⅢ | 名古屋 | 2000m | 4歳以上 → 3歳以上 | 3月上旬 → 12月下旬 |

<市場開催日程>

トレーニングセール 2歳 一般 5月23日(火)

*公開調教5月22日(月) *前日展示7月24日(月)

セレクションセール 1歳 7月25日(火)~26日(水) 選抜

サマーセール 1歳 一般 8月21日(月)~25日(金)

セプテンバーセール 1歳 一般 9月19日(火)~21日(木)

オータムセール 1歳 一般 10月16日(月)~17日(火)

*トレーニングセールはJRA札幌競馬場で開催いたします。 *申込頭数などにより日程が変更になる場合がございます。

n



https://www.hba.or.jp/

〈市場事務所〉 日高軽種馬農業協同組合 北海道市場事業部 〒056-0002 北海道日高郡新のたか町静内神森175-2 TEL 0146-45-2133 開設者〉、日高軽種馬農業協同組合・胆振軽種馬農業協同組合・十勝軽種馬農業協同組合 〈後援〉 公益社団法人日本軽種馬協会



o by Hiroshi Kawai